

# 『本のリストの本』の 全リスト

本書で紹介した48のリストを  
著者別でリストにしてみました。  
眺めて味わうもよし、  
紐解いてみるもよし、  
あなただけのリストの世界を  
楽しんでください。

---

## 南陀楼綾繁

p. 020

### 大学図書館で見つけた個人文庫のリスト

- 『青い酒と赤い恋』松崎天民
- 『古今百風 吾妻餘波』1 岡本経朝編
- 『新しい礼法』日本弘道会礼法研究調査委員会
- 『蟻の街の奇蹟 バクヤ部落の生活記録』松居桃楼
- 『アリス国語集』宮武外骨
- 『いかもの趣味』1 蒐集狂の巻
- 『いかもの趣味』2 考現学の巻 磯部鎮雄編
- 『婦人記者お目見得廻り 化け込み』続共中平文子
- 『おもちゃ雅印集 竹とんぼ草紙 その2』
- 『女・女・女』小野賢一郎
- 『女十篇・恋十篇』小野賢一郎
- 『女の記録』読売新聞社会部編
- 『女八人』松崎天民

p. 049

### マンガの中の本欄に描かれた本のリスト

- 『浮力と自壊』
- 『バトス』
- 『神論』
- 『詩と詩論』
- 『出版と著作権』
- 『みじめな奇蹟』
- 『ヒットラー一代記』
- 『谷川雁』
- 『西川正身』
- 『萩原朔太郎』
- 『プレヒト作業日誌』
- 『ぼさつ日記』

p. 056

### 刊行しなかった本のリスト

- 『煉獄論』浅田彰
- 『ソン・メタリック』浅田彰
- 『男色と免疫疾患』南方熊楠
- 『宇宙知性との交信』松田卓也
- 『博物誌』プリウス
- 『中上健次論』浅田彰+坂本龍一
- 『午前3時17分のズレ』J・L・ゴダール
- 『家具の本』坂本龍一
- 『捕手・脱審判のためのエクリチュール』重寶重彦+草野進
- 『糸井重里児童文学全集』
- 『きのこ学大全』ジョン・ケージ
- 『地表変化論』ジョルジュ・キュヴィエ
- 『ワークショップ・チベット』中沢新一
- 『小説・経済論』村上龍
- 『吉本隆明スクラッチ VOICE』坂本龍一
- 『樹木状綱目』ジュリアン・パコット
- 『無限、宇宙と諸世界について』G・ブルーノ
- 『往復書簡』W・パロウズー出口王仁三郎
- 『細野晴臣画集』
- 『チベット・死者の書』中沢新一
- 『Moonlight Night in a Bag』北園克衛
- 『ポップビズム』アンディ・ウォーホル
- 『スクラッチ・ミュージック』C・カーデュー
- 『フランシス・ピカビア』W・A・キャンフィールド
- 『ポスト・メディウム』高橋悠治+中上健次+坂本龍一+浅田彰
- 『坂本龍一伝』玖保キリコ
- 『中島みゆき論』呉智英
- 『あにさまが通る』大和和紀
- 『禁煙の形而上学』柄谷行人
- 『ピーター・ピアード日記帳』
- 『グリーン・ボックス』マルセル・デュシャン
- 『マルセル・デュシャン』オクタヴィオ・パス
- 『千年王国・バリ』G・ペイトソン
- 『時間発生の臨床学』木村敏
- 『イルカを撃つな』G・ペイトソン
- 『鬼奈沙・黙示録』半村良
- 『ナムジュン・バイクをめぐる6人のパフォーマンス』
- 『Iの現象学』グスタフ・ホススタッター
- 『森のパロック』中沢新一
- 『音楽図鑑』坂本龍一
- 『緊縛』クロソフスキー
- 『THE GREY WALL』坂本龍一
- 『壊れる本』坂本龍一
- 『BRAIN STORMING』細野晴臣+坂本龍一
- 『グルジェフ体操』中沢新一

『注釈 森敦・意味の変容』柄谷行人  
『世界終末戦』バルガス・リョサ  
『神曲』中上健次  
『ユグ福音書』  
『A・A・LA論叢』中上健次

p. 062

### ひとりの編集者が予告した本のリスト

『昭和十年代の詩人たち』大岡信  
『幻視者の文学』安東次男  
『アメリカ文学の魅力』佐伯彰一  
『心と表情 ジョイス、グリーン、その他』丸谷才一  
『恋人のイメージ 詩と映画』清岡卓行  
『記録の詩学』長谷川竜生  
『小林(多)・宮本(百)・中野(重)』奥野健男  
『記録文学論』杉浦明平  
『二〇世紀芸術とマルクス主義美学』針生一郎  
『非人間時代の芸術』中原佑介  
『美術論集』岡本謙次郎  
『カフカ・ムール・ブルジョア』原田義人  
『現代ドイツ詩論』富士川英郎  
『サルトルの芸術論』平井啓之  
『二〇世紀・英米詩人たち』安藤一郎  
『現代社会と音楽』秋山邦晴  
『T・S・エリオットとC・フライ』高谷毅  
『現代のアメリカ演劇』倉橋健  
『D・H・ロレンスとディラン・タマス』羽矢謙一  
『イギリス演劇論』小津次郎

p. 068

### 失われた本のリスト

『貴婦人のアカデミー』ニコラ・クーリエ  
『二四四〇年』ルイ＝セバスティアン・メルシエ  
『良識の哲学』  
『キリスト教徒に対する皇帝エリヤヌスの演説』  
『政治哲学』教皇パウロ三世  
『歴史批評辞典』ビュール・ペール  
『キリスト教要約辞典』ベルジェ神父  
『世界史叙説』ボシュエ  
『刑法理論』ジャック・ビュール・ブリッソー  
『教程』コンディヤックコンディヤック 以下、同著者の最新刊六冊  
『対話』  
『美德と報酬の書』  
『教訓となる誤り』  
『治世の日誌』フランス王アンリ四世  
『軍事哲学』  
『モンテスキューの才能』ジュアン・ミランダ

『吟遊詩人(トルバドゥール)の文学史』  
『政治・哲学史』ギョーム＝トマ・フランソワ・レナール  
『ベリサリウス』ジャン＝フランソワ・マルモンテル  
『ある貴族の回想と冒険』アントワヌ・フランソワ・プレヴォ  
『自然について』ジャン＝バティスト＝レネ・ロビネ  
『アメリカ人についての研究』  
『自然体系』  
『社会制度』  
ヴォルテールの著作  
『新エロイズ』ほかるソーの著作  
『世界史に関する随筆』ジャン・ド・アンチモン  
『ヴァンロー王子の物語』  
『ビクトロ・アレクサンダーの人生と物語』  
『ローマ皇帝一二人の私生活の極み』

p. 079

### ミステリに描かれたブックフェアのリスト

倒叙ミステリ・フェア  
『伯母殺人事件』リチャード・ハル  
『伯母殺し』リチャード・ハル  
『ソーンダイク博士の事件簿』R・オースティン・フリーマン  
『ポッターマック氏の失策』R・オースティン・フリーマン  
『歌う白骨』R・オースティン・フリーマン ほか

骨ミステリ・フェア  
『スケルトン探偵シリーズ』アロン・エルキンズ  
『骨』ビル・ブロンジーニ  
『骨まで盗んで』ドナルド・E・ウェストレイク  
『骨と沈黙』レジナルド・ヒル  
『風の墓碑銘』乃南アサ  
『ボーン・コレクター』ジェフリー・ディーヴァー  
『蹲る骨』イアン・ランキン  
『逆さの骨』ジム・ケリー  
『皮膚の下の頭蓋骨』P・D・ジェイムズ  
『五十万年の死角』伴野朗  
『髑髏校校』横溝正史 ほか

風邪ミステリ・フェア  
『剃刀』志賀直哉  
『厳冬』今野敏  
『病欠』今野敏  
『鴉人荘の怪事件』クリスティ  
『ママ、アリアを唱う』ジェイムズ・ヤッフェ  
『梅見月』芦原すなお

『風邪の証言』二階堂黎人  
『風邪うどん』田中啓文  
『夜のフロスト』ジェイムズ・ヤッフエ  
『水曜日は必ず濡れだった』ジェイムズ・ヤッフエ ほか

p. 090

### 新潟県を舞台にした文学作品のリスト

坂口安吾の著作  
『蒼茫夢』 柏崎市  
『上杉謙信の巻 越後守安吾將軍の奮戦記』  
上越市  
『ふるさとに寄する讃歌』 新潟市  
『黒谷村』 松之山町  
『村のひと騒ぎ』 松之山町  
『麓』 松之山町  
『逃げたい心』 松之山町  
『母を殺した少年』 新潟市  
『禅僧』 松之山町  
『木々の精、谷の精』 松之山町  
『不連続殺人事件』 松之山町  
『吹雪物語』 新潟市  
『石の思ひ』 新潟市  
『富山の葉と越後の毒消し』 巻町

p. 196

### 大学一年生のぼくの読書ノートのリスト

評価

- A 年間ベストテンに入るぐらいの傑作
- B かなりおもしろい快作
- C それほど熱中もしないが普通におもしろい
- D おもしろさよりケチをつける部分が多い
- E はっきりいって駄作、どうしてこーゆー本があるのか理解に苦しむ

『江戸川乱歩傑作選』自・古 B  
『帝都物語6 不死鳥篇』荒俣宏 自・新 B  
『葛木曾棧(つたかざらきそのかけはし)』  
国枝史郎 自・古 B  
『せどり男爵数奇譚』梶山季之 自・古 A  
『古本屋探偵登場』紀田順一郎 自・新&古 B  
『われ巷にて殺されん』紀田順一郎 自・新&  
古 B  
『幻燈辻馬車』山田風太郎 自・古 再読 B  
『現代マンガの全体像』呉智英 自・古 B  
『あばれはっちゃく』山中恒上・下 自・古 再  
読 B  
『帝都物語7 百鬼夜行篇』荒俣宏 自・新 B  
『せどり男爵数奇譚』梶山季之 自・古

『われ巷にて殺されん』紀田順一郎 自・古 B  
再読  
『エッフェル塔の潜水夫』カミ、吉村正一郎訳  
自・古 B 再読  
『ボートの三人男』ジェローム・K・ジェローム、  
丸谷才一訳 自・古 再読 B  
『ホームズ展覧会』各務三郎編 岡宮 C  
『死者の木霊』内田康夫 自・古 B  
『言語破壊官』かんべむさし 自・新 再読 C

p. 278

### 戦没学生たちの手記の中の本のリスト

中村徳郎(二十五歳で戦地にて行方不明)  
今日最後の散髪に引率外出があった際、近く  
の古本屋で掘出物を得た。楽しみにして持  
ってゆく。左に書名を記しておく。  
『ゲーテ、シルレル往復書簡集』菊池栄一訳  
桜井書店 五・五〇円  
『文学と文化』高橋健二著 鮎書房 二・八〇  
重複一、『形成的自覚』木村素衛 弘文堂  
二・五〇  
重複一、『最新世界史年表』三省堂 一・五〇

松永龍樹(二十七歳で戦死)  
『イタリヤ紀行』麻生三郎  
『東京八景』太宰治  
『愛情の古典』服部直人  
『詩の為に』シェリー  
『詩と真実』ゲーテ  
『伊豆の踊子』川端康成  
『フランス其の後』  
『ソヴェト通信』  
『半月手帳』ベギイ  
『文学の三十年』宇野浩二  
『文学と生活』杉山平助  
『日本文学史の構想』風巻景次郎  
『風の中の子供』坪田譲治  
『討伐日記』伊崎浩司  
『満州印象記』今村太平  
『詩集ちぎれ雲』中村正四郎  
『文芸五十年史』杉山平助  
『国学論』井上豊  
『橡の黄葉』田中冬二  
『大学新聞』抜粋  
『暁の女王と精霊の王の物語』ネルヴァル  
『静思』に就いて  
『セヴィニエ夫人手紙抄』  
『書簡集』吉田松陰  
『講孟余話』吉田松陰

『蕪村論』 暉峻康隆  
我が書「ラ・ソレリイナ」(『チボー家の人々』  
第四卷)

「ユカリの書」について

『戦争論』クラウゼヴィッツ

『フランス中世文学史 I』

『文学散歩』グウルモン

映画「海軍戦記」と「翼の凱歌」

半知識への憎悪(『続次郎物語』と『米百俵』)  
(これはエッセイ)

『比較言語学』高津春繁

『日本の祭』柳田国男

p. 284

中学生のぼくにとって命綱だったSF小説の  
リスト

『SF エロチックス』 福島正実編

『五分間サスペンス』 福島正実編

『五分間スリラー』 福島正実編

『SF エロチック・ミステリー』 福島正実編

『かわいい魔女』

『SF エロチックの夜』 福島正実編

『SF エロチックあらかると』 福島正実編

『日本のSF・古典篇』 石川喬司編

『日本のSF・現代篇』 石川喬司編

『異形の白昼』 筒井康隆編

『夢からの脱走』 筒井康隆編

『海底の人魚』 都筑道夫編

『ブラック・ユーモア選集5・日本編』 伊藤守男編  
〔以下略〕

## 書物蔵

p. 074

ある古本屋の架空図書のリスト

『東西カフェー分布図志』 赤柳尖平(実態探  
訪・内装/女給写真と告白)昭和五 一万円

『現代変態猟奇猥褻作家及版元人名録』 文献  
日本社編(経歴・住所/稿料・写真)昭和六  
七千円

『@不穩人物ト其動向』(一〜二七四揃)、高等  
係(内部用)、(左翼他。謄写。未復刻)昭和  
十四 八万円

『古書店歩る記』 菟書道楽社(「古本屋道順」  
発行元余話。主人談・店内写真)昭和十一  
八千円

『バク屋・屑屋・建場』(仕組・分布・写真)昭和  
二〔買入れ価格なし〕

『此さへ買へば必ず儲かる! 古本目録の拵へ  
方』 魚文堂、昭和六〔買入れ価格なし〕

p. 201

戦前のベストセラーのリスト

1 昭和十年十一月

『鬼火』 横溝正史

『世界航空年鑑』

『悪太郎』 尾崎士郎

『日本探偵小説傑作選集』 江戸川乱歩

『パイロン』 鶴見祐輔

『七宝の柱』 小島政二郎

『蘇峰自伝』 徳富蘇峰

『殺人流線型』 大倉燦子

『ルナル日記』 岸田国士

『秋の朝』 吉田絃二郎

『丸ノ内五人女』 辰野九紫

『暁の獵人』 長谷川海太郎

『チェリユスキンの最後』 平岡雅英

『ムツツリーニ敗る、日』 安沢正策

『万五郎青春記』 野村胡堂

『愛憎秘刃録・雪之丞変化』 三上於菟吉

『経済新話』 白取幸三郎

『地の果まで』 短編集』 吉屋信子

『燃える処女林』 三上於菟吉

『昭和十年航空年鑑』 北星亀男

2 明治四十三年五月

叢書

『楞牛全集』 高山林二郎

『春汀全集』 鳥谷部春汀

隨筆

『随想録』 新渡戸稲造

『福翁百話』 福沢諭吉

哲学

『宇宙』 三宅雄二郎

『大死生観』 加藤咄堂

心理

『睡眠心理学・心理学講義』 福来友吉

『心理学綱要』 元良勇二郎

文学

『漢文講義』 緑川幸則

『スケッチブック』 浅野和三郎訳

小説

『寄生木』 徳富蘆花

『尾崎紅葉全集』 尾崎紅葉

p. 214

国が価格設定した古本のリスト

「中古品タル書籍ノ販売価格指定ノ件」  
一(イ)書誌、国文、漢文  
『増訂国書解題』佐村八郎 二五円  
『重刊訪書余録』和田維四郎 三〇円  
『高野版之研究』水原堯栄 一〇円  
『古活字版の研究』川瀬一馬 七〇円  
『古本節用集の研究』上田万年、橋本進吉  
二〇円  
『日本書紀古本集影』日本書紀撰進千二百年  
記念会 二五円  
『嵯峨本考』和田維四郎 五〇円  
『江戸物語』和田維四郎 五〇円  
『粘葉考』田中敬 二〇円  
『古版図録』池田敬八 二五円  
『支那古版画図録』美術研究所 二〇円  
『慶長以来諸家著述目録』中根肅治 一五円

#### p. 223

##### 『出版年鑑』の兄弟本のリスト

『著作年報』(未刊)  
『出版年鑑(国際思潮研究会版)』  
『出版年鑑(書籍商版)』  
『出版年鑑(東京堂版)』  
→『書籍年鑑』  
→『日本出版年鑑』  
→『出版年鑑』  
『アナーキズム文献出版年鑑』  
『総合出版年鑑』  
『出版便覧』  
『読書燈』  
『出版総覧』

#### p. 219

##### 調べ物をする人のための本のリスト

『読書に関する書物及び索引』『大阪市立図書館報』第二十一～二十三号  
「『読書』及び『読書法』に関する文献」冠木恒夫『図書週報(沼津)』  
『読書資料一覧(その1～3)』『山口県立中央図書館報』第十・十一・十三号  
『図書教育に関する文献目録』『教育』第十一卷三～四号  
『読書法に関する参考文献抄』『現代読書法』  
田中菊雄

#### p. 234

##### 『書誌もの』の同人誌のリスト

『週刊女性誌+α掲載漫画作品リスト 昭和編』soorce

『戦後女性漫画の歴史 黎明編1945-1979』  
soorce

『新聞マンガ総目録』新聞マンガ研究所  
『週刊少年ジャンプ目次目録』裏球委員会  
『棚から一掴み 評論・情報・趣味系同人誌レビュー本第3号』KZA2企画

#### p. 239

##### 趣味誌のリスト

『雑誌愛好』雑誌愛好会  
『交寛』神戸関西交寛会  
『趣味と名物』石川喜四雄  
『趣味と実益』光々社

#### p. 244

##### 戦前の新聞雑誌すべてのリスト

『真宗の世界』大日本真宗宣伝協会  
『真人道』真人道社  
『渋谷区報』渋谷区報社  
『渋谷キネマウィクリー』独立連盟映画合資会社  
『浄土教報』浄土教報社  
\*『出版通信』出版通信社  
\*『人類愛善新聞』人類愛善新聞社  
『衆楽新聞』衆楽社  
\*『食養雑誌』食養会  
\*『主婦之友』主婦之友社  
\*『初等教育』初等教育社  
『純正与論』与論社  
『縦横評論』社会春秋社  
\*『仁寿社報』仁寿生命保険株式会社  
\*『如水会会報』財団法人如水会  
『静岡芙蓉新聞』静岡芙蓉新聞社  
『修養と学芸心の友』東京商工学校  
『歯科医事新報』歯科医事新報社  
\*『慈大愛宕新聞』慈大愛宕新聞社  
『借家人』借家人社  
『狩猟界』大日本連合猟友会  
『獅子吼』獅子吼会  
\*『植民』日本植民通信社  
『斯民』斯民社  
\*『斯文』斯文会  
\*『処女』用力社  
『松竹演芸内報』松竹通信部  
『松竹館ニュース』松竹館  
『松竹少女歌劇』松竹座  
『就職通信』就職通信社  
『白木週報』白木屋庶務部  
\*『\*』つきは国会図書館に一部でも残っている  
ものだが、半分以上がいま失われている。

## 鈴木潤

p. 036

### 忘れられない絵本のリスト

『かいぞくジエイク』パット＝ハッチンス  
『よあけ』ユリー・シュルヴィッツ  
『まどのそとのそのまたむこう』モーリス・セ  
ンダック

『あのやまこえてやってきた』長谷川集平  
『じめん』長谷川祺子 英伸三写真  
『やぎのはかせのだいはつめい』横ひろし  
『いっぽんの鉛筆のむこうに』谷川俊太郎  
坂井信彦ほか写真 堀内誠一絵  
『ジブヤとひとくいドラ』A・ラマチャンドラン  
『ゆきむすめ』岸田裕子 鈴木康司絵

p. 107

### 子や孫のために作られた絵本のリスト

『もじゃもじゃベーター』ハインリッヒ・ホフ  
マン  
『猫と悪魔』ジェイムズ・ジョイス  
『あおくんときいろちゃん』レオ・レオーニ

p. 162

### 大人になってから読んでよかったと思う本のリスト

『スズの兵隊』アンデルセン  
『幸福な王子』オスカー・ワイルド  
『やかまし村の春・夏・秋・冬』アストリッド・  
リンドグリーン  
『たのしいムーミン一家』トーベ・ヤンソン  
『小さい牛追い』マリー・ハムズン  
『牛追いの冬』マリー・ハムズン  
『海へ出るつもりじゃなかった』アーサー・ラ  
ンサム  
『床下の小人たち』メアリー・ノートン  
『時の旅人』アリソン・アトリー  
『ウォーターシップ・ダウンのうさぎたち』  
(上・下)リチャード・アダムズ  
『隊商 キャラバン』ハウフ  
『ハイジ』(上・下)ヨハンナ・シュピリ  
『パンビ 森の生活の物語』フェーリクス・ザルテン

p. 166

### 尊敬する人に送ったとおきの本のリスト

『あなただけのちいさいなえ』ペアトリス・シ  
ェンク・ド・レーニエ  
『三匹の犬の日記』与謝野晶子 つよしゆうこ絵

『くうき』まどみちお ささめやゆき絵  
『わたしのろばベンジャミン』ハンス・リマー  
レナート・オスベック写真  
『詩ってなあに?』ミーシャ・アーチャー  
『おおきなのはら』ジョン・ラングスタッフ  
フョードル・ロジャンコフスキー絵

p. 171

### 本好きの子ども、そして大人も一緒に読みたい本のリスト

『やっばりおおかみ』佐々木マキ  
『いちご』新宮晋  
『なんじゃもんじゃ博士』長新太  
『てつがくのライオン』工藤直子 佐野律子絵  
『耳をすます』谷川俊太郎 柳生弦一郎絵  
『わたしが子どもだったころ』エーリヒ・ケス  
トナー レムケ絵  
『タイコたたきの夢』ライナー・チムニク  
『セースの釣りびとヨナス』ライナー・チムニク  
『火星年代記』レイ・ブラッドベリ

p. 176

### 子どものひとりの時間を描いた絵本のリスト

マリー・ホール・エッツの絵本  
『ジルベルトとかぜ』  
『わたしとあそんで』  
『もりのなか』

p. 181

### 海外でデビューした日本の絵本のリスト

『ぞうのボタン』うえのりこ  
『108びきめのひつじ』いまいあやの  
『くっついた』三浦太郎

p. 185

### 子どもに媚びない絵本のリスト

谷川俊太郎の絵本  
『きもち』長新太絵  
『せかいはひろし』和田誠絵  
『これは のみの びこ』和田誠絵  
『めのまどあけろ』長新太絵  
『あな』和田誠絵  
『わたし』長新太絵

p. 189

### ハリポッターの次に読みたい本のリスト

『はてしない物語』ミヒヤエル・エンデ  
『トムは真夜中の庭で』フィリパ・ピアス  
『ゲド戦記』アーシュラ・K・ル＝グウィン

『指輪物語』J・R・トールキン  
『長くつ下のピッピ』アストリッド・リンドグリーン  
『ナルニア国ものがたり』C・S・ルイス

p. 206

### 子どもの本専門店のベストテンのリスト

絵本部門

1. 『セーラーとベッカシリーズ』全五巻、ヨックム・ノードストリウム
2. 『アストンの石』ロッタ・ゲッフエンブラード
3. 『だめだめすいか』白土あつこ
4. 『いもむしれっしゃ』にしはらみのり
5. 『ワニになにがおこったか』マリナー・マスケビナー
6. 『わにわにのごちそう』小風さち著、山口マオ絵
7. 『バセリともみの木』ルドウィッヒ・ペーメルマン
8. 『よじはんよじはん』ユン・ソクチュン著、イ・ヨンギョン絵
9. 『義くがラーメンたべてるとき』長谷川義史
10. 『ねぼすけはとどけい』ルイス・スロボドキン

読み物部門

1. 『頭のうちどころが悪かった熊の話』安東みきえ
2. 『銀のロバ』ソーニャ・ハートネット
3. 『とりつくしま』東直子
4. 『きみとぼく』今江祥智、長新太絵
5. 『谷川俊太郎 質問箱』谷川俊太郎
6. 『さいでっか見聞録』富安陽子
7. 『マルガリータとかいぞく船』工藤ノリコ
8. 『グレイ・アーサー① おばけの友だち』ルイズ・アーノルド、三木謙次絵
9. 『ふしぎなロシア人形バーバ』ルース・エインズワース、ジョン・ヒクソン絵
10. 『とんぼ島のいたざら子やぎ』バーリント・アグネシュ、レイク・カーロイ絵

---

## 林哲夫

p. 030

### 記憶の中の父の本棚のリスト

内田魯庵(文学者)

内田巖(長男、画家)

古今東西、新刊書、雑誌、硬軟共々の種類怪しからぬ人情本傑作集

西鶴の交つた帝国文庫

暗緑色のがつしりしたクロスに金の題字を奥ゆかしく見せてゐる一列の活字本

伴友信

百家説林

佐藤信淵

群書類従

上田敏(文学者)

嘉治瑠璃子(長女、嘉治隆一夫人)

大きな字引

海老茶色の表紙に金文字の美しいシエーキスピアの全集

ごく小型の紺色の叢書

金の背文字の美しい本(マアテルリンク)

岡倉天心(思想家)

岡倉一雄(長男、文筆業)

諸種の和漢洋の書物がぎつしり

宋詩選

張船山詩集

唐詩人の作品

仏祖歴代通載

仏祖統記

法苑珠林

宋高僧伝

エンサイクロペディア・ブリタニカ

洋書のなかにコナン・ドレルの探偵小説

開国始末(島田三郎)

幕末事情(福地桜痴)

義経記

聊斎志異(蒲松齡)

小山内薫(作家)

小山内喬(三男、俳優)

英仏の本屋のカタログ

The Graphic

Revue Illustrée

A Russian Mystery Play

美術参考書

演劇に関するもの

文学に関するもの

歴史、政治経済などの各書籍

ゼ・マスク

シヤタアツ・マンズリイ

ニューヨーク・タイムス、サンデイ・エディション

芳賀矢一(国文学者)

芳賀檀(長男、第三高等学校教授)

洋書の匂いでいつばいであつた  
金文字の洋書の背皮  
ロシアのお伽噺の本『王様と三人の娘の話』  
八犬伝  
水滸伝  
イリアッド・オデッセー  
シエクスピーア全集  
ブロックハウスの百科辞典  
橘曙覧  
写本十訓抄

萩原朔太郎(詩人)  
萩原葉子(長女、小説家)  
ニーチェ  
ボードレール  
ドストエフスキー  
モーパッサン  
ヘッセ  
室生犀星、島崎藤村、中原中也、大手拓次らか  
らの寄贈本  
一握の砂(石川啄木)

p. 043

#### 画家が読んだ本のリスト

##### 1 松本竣介

『富永太郎詩集』  
『スワン家の方』ブルウスト  
リルケ  
グウルモン  
ノヴァリス  
サント・ブヴ  
バルトラン  
『勇敢なる兵卒シュベイクの冒険』ヤロスラ  
フ・ハシエーク  
林芙美子の著書 など

##### 2 レンブラント

古いオランダ語版聖書  
『ユダヤ古代史』ヨセフス  
『変身物語』オウイディウス  
『ローマ建国史』リウィウス  
『著名言行録』ウィレリウス・マクシムス など

##### 3 デューラー

ルターの著作  
『コンデムナツイオ』  
『バビロン捕囚』  
『アントウェルペン入城記』

『対話集』 など

##### 4 富岡鉄斎

『富岡文庫御蔵書入札略目録』  
『富岡文庫御蔵書第二回入札目録』

p. 086

#### 漱石が英語を学び、教えた教科書のリスト

##### 1 英語の勉強に使った教科書

『万国史』スウィントン  
『サングル第四読本』  
『ユニオン第四読本』  
『熟語表現集』ディクソン  
『英作文集』ディクソン

##### 2 英語の授業に使った教科書

『アレオパジティカ』ミルトン(前任者からの引き継ぎ)  
『ウェイクフィールドの牧師』ゴールドスミス  
『チャイルド・ハロルドの遍歴』バイロン  
『阿片常用者の告白』T・ド・クインシー  
『スケッチブック』アービング  
『アテック、フィロソファー』(スーヴェストル『屋根裏の哲人』)  
『オセロ』シェークスピア  
『ハムレット』シェークスピア  
『フランス革命論』E・バーク(前任者からの引き継ぎ)  
『サイラス・マーナー』G・エリオット  
『ヒューマン・インターコース』P・ハマートン  
『知的生活』P・ハマートン  
『ジョン・ハリファックス、ジェントルマン』クレイク夫人  
『ラセラス』S・ジョンソン(前任者からの引き継ぎ)  
『自殺クラブ』R・ステイーブンソン  
『マクベス』シェークスピア  
『リア王』シェークスピア  
『テンペスト』シェークスピア  
『ベニスの商人』シェークスピア  
『ロミオとジュリエット』シェークスピア

p. 100

#### 獄中で読む本のリスト

『新装版 こんな僕でも社長になれた』家入一真  
『カレチ』池田邦彦  
『シャーロックアン!』池田邦彦  
『理系の子』ジュディ・ダットン



『バイオバンク』マークス・ウォールセン  
 『ロケットボーイズ』ホーマー・ヒツカム・ジュニア  
 『宇宙は“地球”であふれている』井田茂・佐藤文衛・田村元秀・須藤靖  
 『放射線医が語る被ばくと発がんの真実』中川恵一  
 『「反原発」の不都合な真実』藤沢数希  
 『A3』森達也  
 『外資系金融の終わり』藤沢数希  
 『山賊ダイアリー』岡本健太郎  
 『ニートの歩き方』pha  
 『二重らせん』ジェームス・D・ワトソン  
 『ヘルタースケルター』岡崎京子  
 『トラオ 徳田虎雄 不随の病院王』青木理  
 『人間仮免中』卯月妙子  
 『獄窓記』山本譲司  
 『ムシヨ 医』佐藤智美  
 『超闘死刑囚伝』丸山友岐子  
 『成りあがり How to be BIG』矢沢永吉  
 『五体不満足』乙武洋匡  
 『オトことば。』乙武洋匡  
 『PLATONIC SEX』飯島愛  
 『僕の小規模な失敗』福満しげゆき  
 『風俗行ったら人生変わったwww』@ 遼太郎  
 『とんび』重松清  
 『かくかくしかじか』東村アキコ  
 『東京タワー』リリー・フランキー  
 『天地明察』冲方丁  
 『JIN—仁—』村上もとか  
 『青雲の梯 老中と狂歌師』高任和夫  
 『チャンネルはそのまま!』佐々木倫子  
 『電波の城』細野不二彦  
 『江戸のお金の物語』鈴木浩三  
 『武士の家計簿』磯田道史  
 『リーマン侍 江戸語の世渡り』野火迅  
 『日本人がグローバル資本主義を生き抜くための経済学入門』藤沢数希  
 『グラゼン』原作:森高夕次、作画:アグテケイジ  
 『フェルマーの最終定理』サイモン・シン  
 『暗号解説』サイモン・シン  
 『カラー図解アメリカ版大学生生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』ヘラー、オーリアンズ、ヒリス、サダヴァ

p. 111

古本に載っていた自社の出版案内のリスト

1 岡倉書房版敵撰随筆所  
 『倦鳥求林集』竹越與三郎  
 『銀砂子』鍋木清方

『旧聞日本橋』長谷川時雨  
 『彫塑余滴』朝倉文夫  
 『鬼言冗語』岡鬼太郎  
 『猫やなぎ』岡本綺堂  
 『ランプの下にて』岡本綺堂  
 『演劇談義』伊原青々園  
 『近世演劇雑考』石割松太郎  
 『ラスキン随想』御木本隆三  
 『呉岸越勢集』岡倉由三郎  
 『蚤の市』石黒敬七  
 『奈良のはたごや』小林一三  
 『わが自然と人生』中村武羅夫  
 『茱萸の酒』室生犀星  
 『厨女雑記』林芙美子  
 『晴釣雨稿』土師清二  
 『露宿洞雑筆』子母沢寛  
 『白雲菴百話』林春隆  
 『新撰豆腐百珍』林春隆  
 『南洋と裸人群』安藤盛  
 『伯林・東京』秦豊吉  
 『巴里素描』松尾邦之助  
 『精神分析雑稿』大槻憲二  
 『平遠隨筆』川路柳虹  
 『娑婆風流』吉井勇

## 2 崇山房蔵板目録

李于鱗唐詩選 南郭先生考訂 小本 全  
 同薄用搨同無点 全二冊  
 同大字素読本 全三冊  
 同四声片仮名付 全三冊  
 同平仮名付 全二冊  
 同国字解 南郭先生弁 全四冊  
 同解 東山先生述 全三冊  
 同掌故 全四冊  
 同講釈 増補 全五冊／全七冊  
 同箋注 淡園先生著 全八冊  
 唐詩選余言 淡園先生著 全二冊  
 同夷考 平賀先生著 全五冊  
 同兎訓 新井白蛾先生著 全三冊  
 同唐音付 五語絶句／七言絶句 全一冊  
 同画本 五語絶句 七言絶句／五言律  
 同続 五冊ツゝ 四編  
 同和訓 一名經典余師  
 同字引 寸珍本 全一冊  
 同かるた 五語絶句 箱入／七言絶句  
 同  
 草書唐詩選 東江先生書 全三冊  
 草書同 鳥石先生書／子昌先生書 全三冊

草会唐詩選 東洲先生書 全一冊  
五礼唐詩選 同先生書 全二冊  
唐詩選品彙 五七言律／排律 全五冊  
同小本 五七言絶句 全五冊

p. 230

昭和二十年代のガリ版雑誌に掲載された  
リスト

1 寄贈された雑誌

『若い世代』八月号  
『パール』創刊号  
『青春タイムス』九月号  
『趣味界』二五号  
『島人形』七、八、九月号  
『桜井たより』盛夏の巻  
『つづまからくり年代記』  
『浮雲』七号  
『クー』五号  
『文芸通信』五〇号  
『散苦新聞』三号  
『普及通信』八月号  
『奇術界報』一五七号

2 広告として掲載された雑誌

『新聞文化』四〇号 新聞文化通信社(山梨県)  
『月刊パール』若花会(三重県)  
『クー』フレンド社(大阪府)  
『純文芸月刊誌浮雲』浮雲会(長野県)  
『売春婦の手記』北海通信社(北海道)  
『若い世代』新青年社(北海道)  
『趣楽通信』伏虎蒐集趣味ノ会(和歌山県)  
『月刊青春』奈良春秋社(奈良市)  
『総合文芸誌島人形』島人形社(兵庫県)

p. 252

ランボーがアフリカで母親にせがんだ本の  
リスト

冶金概論  
都市と農業の水理学  
汽船の船長  
造船学  
火薬と硝石  
鉱物学  
用石工事  
農林製材所アルバム  
自噴井戸  
製材所建設の手引き  
大工必携  
図解農業機械カタログ

車大工手引き  
皮革製造業者手引き  
完璧な錠前屋  
鉱山の開発  
ガラス職人手引き  
煉瓦職人手引き  
磁器・陶器等の製造業者手引き  
各種金属造業者手引き  
蠟燭製造業者手引き  
武器製造業者ガイド  
中央工芸学校出版部総目録  
電信の手引き  
小さな指物師  
内装職人  
旅行者ガイド、または開拓者のための理論と  
実践の手引き  
金属建造物  
商工年鑑  
軍民兼用工学辞典  
アラビア語辞典  
旅行者手引き  
海上建造物  
鉱物標本集三百  
地理学と測地学  
三角法  
鉱物学  
水路地理学  
気象学  
工業化学  
標本採取のための旅行者心得  
空  
一八八二年版黄経局年鑑  
鉱物標本  
アビシニアとハラル地方の地図  
鉄道総説  
力学概説  
地形状概論  
地学および鉱物学の実地概論  
鉱物学と地質学  
工事の実施 測地学 水路学 トンネルと  
地下道  
土木工事の計算摘要  
曲線図案  
力学初級講座  
応用天文学概論  
鉄道敷設者実践手引き  
土木市場  
トンネルと地下道  
ソマリヤ語文法書

コーラン仏訳あるいはアラブ語対訳  
交易と航海の辞典  
アムハラ語辞典  
アマリンナ語辞典

p. 261

### Mさんが探していた本のリスト

版画荘文庫

- 1『蝙蝠館』丸山薫
- 2『春遠し』伊藤永之介
- 3『お化けの世界』坪田譲治
- 4『二十世紀旗手』太宰治
- 5『南國物語』福田清人
- 6『黄昏學校』衣巻省三
- 7『幼い薔薇』丹羽文雄
- 8『石狩』伊藤整
- 9『手袋』高見順
- 10『金魚』石坂洋次郎
- 11『馬來乙女の歌へる』イヴァン・ゴル、堀口大學訳
- 12『檸檬』梶井基次郎
- 13『假面』矢田津世子
- 14『火薬』大鹿卓
- 15『戦場』楠山潤
- 16『雷鳴』荒木巍
- 17『横丁圖面』寺崎浩
- 18『移民』湯浅克衛
- 19『ひとの男』宇野千代
- 20『泉』伊藤永之介
- 21『ゴルフ』中河与一
- 22『幻影』阿部知二
- 23『夏の夜の夢』岡本かの子
- 24『山櫻』石川淳
- 25『おしやべり』尾崎一雄
- 26『旅さきにて』中村地平
- 27『紅葉の懺悔』林芙美子
- 28『杭州城圖會』小田嶽夫
- 29『火木土』井伏鱒二
- 30『あんどれの母』石川達三

p. 268

### 私が集めた漢詩集のリスト

写本

- 『破草鞋』百拙元養 享保年間(一七一六～三六)序
- 『蘭亭先生詩集』高野蘭亭 天明八(一七八八)
- 『忘形集』山良由君裕／邊禮伯高 文化十一(一八四四)
- 『舖糟集』岡田邦彦 文政五序(一八二二)

『致堂詩藁』横山政孝 自筆 天保年間(一八三〇～四三)

『明理詩集』弘化二(一八四五)

『詩草玉聯集』沙門惠巖 幕末

『尊園詩歌』尊園法親王

『幼詩雜記』

『誦稿』

『詩稿二』

『推敲』

『鴨東四時雜詞』中島棕隱 明治

『詩草』菊池蘭蔵 明治

『百人一首次韻集』三宅党三郎選 明治三十五(一九〇二)

木版本

『岬山集 元政』村上平楽寺 不揃二冊 延宝二(一六七四)

『三體詩』塩屋七郎兵衛 三冊 貞享五(一七八八)

『白石先生餘稿』巻之一 新井白石 正徳五(一七一五)序

『狂詩諍志題』蚊文々・面徳齋琴成 萬千秋 元治二(一七六五)

『太平楽府』銅脈先生 大井屋左平次・只見屋調助 明和六(一七六九)

『東江先生書唐詩選』嵩山房 天明四(一七八四)

『香泉遺稿』高尾香泉 風月荘他 文化九(一八一二)

『黄葉夕陽村舎詩』菅茶山 柳原喜兵衛他 十三冊 文政六(一八二二)

『白翁先生遺稿』鴨田維章 文政二(一八一九)

『大阪繁昌詩 中』田中金峯 紀律堂 安政六(一八五九)

『山陽詩鈔 一』頼襄子成 菱屋孫兵衛他 天保四(一八三三)

『山陽詩註 初篇二』頼襄子成 燕石陳人註

『亘園百家詩初篇』須原屋茂兵衛他 不揃五冊 天保十二(一八四一)

『近世名家詩鈔』文栄堂・擁萬堂 万延二(一八六一)

『東湖詩鈔 下』藤田彪彬 風月荘右衛門

『山陽詩鈔 四』頼襄子成 濱本伊三郎 明治十二(一八七九)

『春水遺稿』頼春水 芸藩頼氏 不揃六冊

金属活字本

『象山先生鈔 卷之下』佐久間象山 日就社

- 明治十一(一八七八)  
『皇国名家絶句類纂 一上』田辺明庵編 朝  
盛堂 明治十八(一八八五)  
『詞林聚芳 第三集』奥田道太郎編 文石堂  
他 明治十九(一八八六)  
『古今狂詩大全』弓場重光編 博文館 明治  
二十三(一八九〇)  
『柳北詩集』成嶋復三郎 博文館 明治二十  
七(一八九四)  
『南冠集』奥平小太郎 敬愛社 明治三十四  
(一九〇一)  
『鴻溪遺稿 卷下』信原徳太郎 荘直温 明  
治三十九(一九〇六)  
『杏雨餘滴 乾 帆息杏雨』加藤鎮之助 大  
正元(一九一二)  
『八秩壽言』国分胤之 大正六(一九一七)  
『東獄詩集 土佐林勇』土佐林勇 大正十  
(一九二一)  
『和風亭學軒近体詩鈔』甲籤 吉田増蔵 大  
正十三(一九二四)  
『天耕遺稿』本多守一郎 久品介善 昭和六  
(一九三一)  
『三借書屋初稿』藤澤黄坡 藤澤黄坡先生華  
甲祝賀会 昭和十一(一九三六)  
『錦川遺集』後藤錦川 後藤彦彦 昭和十八  
(一九四三)

p. 274

**古書で買った書体字典に赤線で引かれた  
出典リスト**

- 三七七 六朝写経 諸仏要集経  
三九四 王獻之・榻模本  
四〇〇 龍門造像記 牛欄造像記  
四四一 張猛龍碑  
四四二 高貞碑  
四四四 智永・真草千字文  
四四七 歐陽詢・皇甫誕碑  
四四九 九成宮醴泉銘  
四五二 虞世南・孔子廟堂碑  
四五三 唐太宗・晋祠銘  
四五四 褚遂良・枯樹賦  
四五九 敬客・王居士塔塔銘  
四六〇 歐陽通・道因法師碑  
四六一 孫過庭・千字文  
四六八 顔真卿・三稿  
四七〇 懷素 自叙帖  
四七八 蘇東坡 洞庭春色賦・中山松醪賦  
四八三 黄山谷 李白憶旧遊詩卷  
四八九 米芾・苕溪詩卷

- 五〇〇 張即之・金剛般若經  
五三〇 董其昌・秋陵帖  
五三七 王鐸・臨書帖  
五五二 張璠・行草書詩卷  
五六九 金冬心・隸書冊  
六二〇 趙之謙・篆書六屏  
六三三 吳昌碩・西塘記  
六四七 褚遂良・千字文  
六五〇 何子貞・手守日記  
六五四 王鐸・詩稿卷

---

## 正木香子

p. 025

**名曲喫茶に積まれていた本のリスト**

- 『新潮世界文学28 ジッド1』  
『独り居の日記』メイ・サートン  
『優しさと哀しさと』渡辺淳一  
『青年』森鷗外  
『淀川長治 自伝(下)』淀川長治  
『すべてとは言わないまでも 春の嵐  
2014-2019年までの個人的な記録』  
Hiutumaschen  
『ウは宇宙船のウ』萩尾望都  
『日本アルプス登山日記』W・ウエステン  
『ツヴァイク全集 時代と世界』  
『従軍慰安婦』吉見義明  
『MEANING IN THE VISUALARTS』EDWIN  
PANOFSKY  
『神話作用』ロラン・バルト  
『哲学論文集 想像力・自我の超越・情緒論粗  
描』  
『アルトナの幽閉者(サルトル全集)』  
『ORION J・FACEY』THE Virosexuals  
(savardankly) ※和綴じ  
『創作アニメーション入門 基礎知識と作画  
のヒント』山村浩二  
『芸術としての映画』ルドルフ・アルンハイム  
『世界の文学9 ボルヘス』  
『なみだふるはな』石牟礼道子・藤原新也  
『アンドレ・バザン研究2』山形大学人文社会  
科学部付属映像文化研究所、アンドレ・バ  
ザン研究会  
『赤い船』小川未明 ※明治十三年刊行  
『本の映画館 ブック・シネマテーク4 退廃  
の美しさに彩られた孤独の肖像 ヴィス  
コンティ集成』奈良義己

- 『ウォルター・サベッジ・ランドーの作品と生涯 第二巻』
- 『ブルガタ聖書』ラテン語訳のもの
- 『オックスフォード名詩選』サー・アーサー・クイラー＝クーチ
- 『大学論』ジョン・ヘンリー・ニューマン  
サー・トーマス・ワイマットかベン・ジョンソンの恋愛詩集
- 『ピープスの日記』サミュエル・ピープス
- 『巡礼の道』サー・アーサー・クイラー＝クーチ
- 『オックスフォード名文選』サー・アーサー・クイラー＝クーチ
- 『サー・ロジャー・ド・カバリーの記録』ジョーゼフ・アジソン、サー・リチャード・スチール  
エリザベス朝時代の名詩選  
ブルガタ聖書用語事典  
ジョーゼフ・ヒレア・ピエール・ペロックの随筆  
バッハ「マタイ受難曲」やヘンデル「メサイア」のような「ちゃんとした装丁の声楽の楽譜」
- 『伝記集』アイザック・ウォルトン
- 『釣魚大全』アイザック・ウォルトン
- 『自負と偏見』ジューン・オースティン  
ジェームズ・ローブが刊行した古典双書「ローブ古典対訳文庫」のホラチウス、サッポロ、カトウルスの巻  
ジョージ・バーナード・ショーの演劇評論
- 『愛書家のための名文選集』
- 『トリストラム・シャンディ』ローレンス・スターン
- 『アメリカ紀行』ド・トックビル
- 『ソクラテ斯的対話四編』プラトン、ベンジャミン・ジョーエット訳、オックスフォード刊
- 『楽しい川べ』ケネス・グレアム、アーネスト・シェパードのさし絵のもの
- 『エリア随筆』チャールズ・ラムのマクドナルド古典文学双書  
サミュエル・ジョンソンのシェイクスピア論、ウォルター・ローリーの序文のあるオックスフォード刊
- 『カンタベリー物語』ジェフリー・チョーサー  
ジョン・ダンの全説教集
- 『回想録』サン・シモン、アークライト訳
- 『一般読者』バージニア・ウルフ  
バーナード・ショーの全集
- 『田園夫人の日記』E・M・デラフィールド  
友人に贈るためのジューン・オースティンの著作

(一九四九～一九六八年)